

◆ 市民活動展示について

10月1日のメーリングニュースでご案内させていただきました通り、サポセン内に市民活動展示コーナーを設けます。以下の市民活動展示実施要領をご理解の上、この機会を最大限ご利用していただきますようお願いいたします。

1枚のパネルには、(サイズ×枚数で) B2×4、A2×4、A4×25まで掲載可能です。



いせはら市民活動サポートセンター
市民活動展示実施要領

◇目的

コロナ禍で中止となったサポセンフェスタに代わり、利用登録団体の活動を、他の団体または市民に対して効果的にPRし、市民団体同士の理解を深めることを目的とします。

◇期間

10月19日～令和3年3月31日まで

◇対象

サポートセンター利用登録団体

◇利用概要

①サポセン館内のパネルを活用しての展示
サポセン館内のパネルを登録団体に貸出

し、活動PRの場を提供します。展示スペースは、横1200mm×縦1800mmのパネル1枚とします。1団体につき2週間、同時に2団体までの展示とします。

※ 説明員等の常駐は不可とします。展示場所は、館内西側スペース(スタッフルーム入口付近)に設置します。

② オンライン上(サポセンHP)での公開
サポセンHP上に市民活動PRのコーナーを新設し、写真や動画を公開します。館内展示パネルを写真撮影し、オンライン上でも年度末まで公開します。動画は、団体が撮影・編集したデータを受領し、サポセンHPにて公開いたします。



◇申込

館内展示は先着順の事前申込制、最大20団体とさせていただきます。

オンライン上での公開は、団体数を制限いたしません。

申込は窓口にて直接、または電話による申込といたします。

◇注意事項

展示、撤去に伴う作業は各団体において行っていただきます。市は展示物の破損、盗難等に関して、一切の責任を負いかねます。展示内容及び公開内容に関して、検討すべき事項が生じた時は、随時、市と団体との間で協議した上で決定させていただきます。

サポセン通信 第40号 もくじ

- 1面 市民活動展示について
- 2面 サポセン活用術その1
- 3面 パソコン豆知識その2
- 4面 利用登録団体のご紹介/編集後記

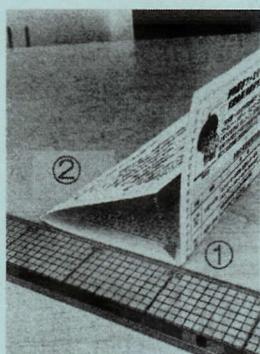
「利用登録団体の皆様にお使いいただける便利な設備を紹介します」

◆サポセン活用術 その1

◇紙折り機の使い方（作業場に設置されています。）
（最大サイズA3まで。ただし2重折りは禁止）

例）A4（210×297）三つ折りの場合

開封時に、原稿の表紙が一番上に来てすぐに見えるように折ります。（写真右下）2回目に折りたたんだ時に、端面が1回目の折りとは干渉しないように、（矢印）折り長さに注意します。折りテスト用に、机の下の棚に、印刷済みのスクラップ用紙が置いてありますのでお使いください。



- ① 原稿の裏面を上にかつ、原稿の先頭が右側に来るようにトレイにセットします。
- ② セットした後、レバーを下げる。
- ③ 折り長さを100mmにセットします。（黒い線を目盛りに合わせます。）



1回目の折り：テストボタンを押して2枚試し折り。ずれる時は、スタッフへ声がけください。OKなら枚数カウントをセットし、スタートボタンを押します。

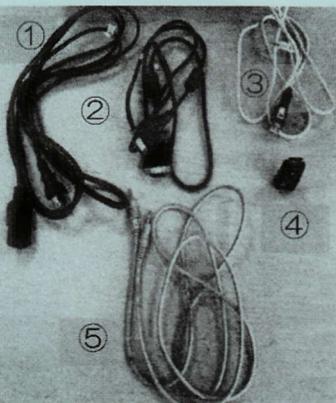
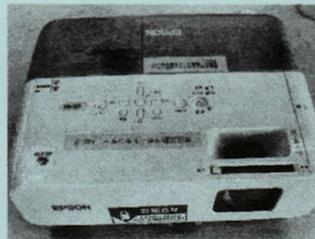
2回目の折り：折り曲げた原稿をフラットに戻し、原稿を回転させて、反対側を折ります。2回目の折り曲げ長さは、95mmにセットし、折ります。

原稿を回転させて、反対側を折ります。2回目の折り曲げ長さは、95mmにセットし、折ります。

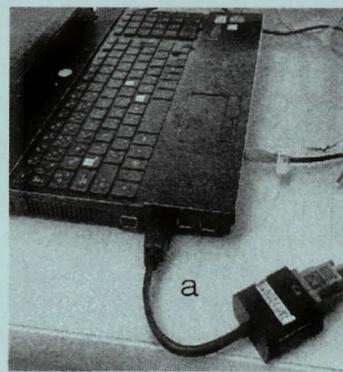
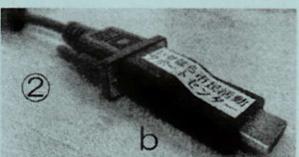
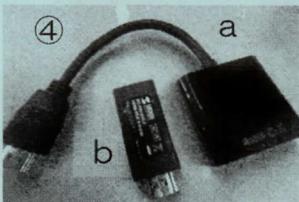
◇プロジェクターの使い方

パソコン（PC）の画面情報をプロジェクターでスクリーンに映します。PCとプロジェクターを接続する方法が3つあります。PCに合わせて選択してください。VGAケーブル、USBポート、HDMIのいずれかを使って 接続できます。

（入力切替は、プロジェクターのパネルで選択、PC画面はキーボード上のWindows+Pで選択）
本体の正面と裏面（接続済み）および付属品リスト



- 《付属品リスト》
- ①電源ケーブル
 - ②VGAケーブル
 - ③USBポート用
 - ④HDMI端子2種
（a、b）あり
 - ⑤ 音声ケーブル（PCとプロジェクターまたはスピーカーに接続）



左の写真は、プロジェクターを使って、PC画像やプレゼン資料をスクリーンに映しながら、音声は、外部スピーカーでPCからの音声とプレゼンターのマイクからの音声を、拡声している様子をイメージしています。

パソコンまめ知識その2 -タスクバー(左側)



表示画面の下に表示されている黒いバーの左側で、

色々な情報を表示している。スタートボタン、検索用虫眼鏡アイコン、アプリアイコンなど、それぞれシングルクリックで起動できる。

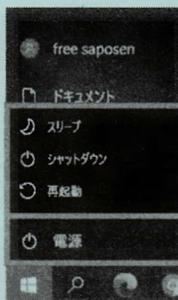
◆スタートボタン



スタートボタンをクリックすると、下から電源、設定、ピクチャー、ドキュメント、ユーザーボタンが表示される。

◆電源ボタン

電源ボタンをクリック

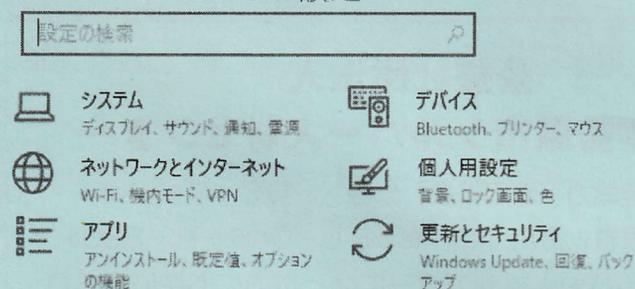


すると、再起動、シャットダウン、スリープを選択できる。

スリープすると、画面をロックしてPCを節電します。再開する時はPINを入力すると、すぐ立ち上がります。

◆設定ボタン

Windows の設定



パソコンのハード、ソフトを設定。

システム、デバイス、アプリ、更新とセキュリティなどの機能がある

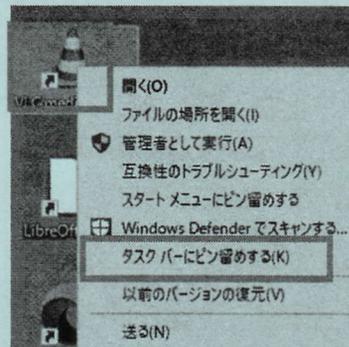
◆アプリの起動



アプリの一覧からオフィスのエクセルを起動する場合アルファベット順に表示されている一覧から起動したいアプリを選択してアイコンをクリックする

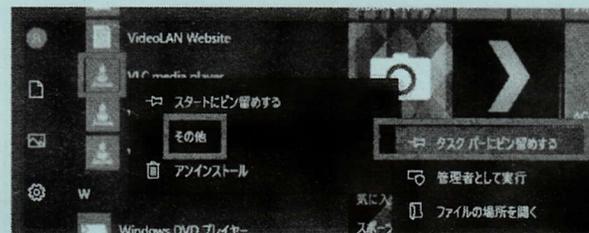
◆タスクバーにアプリをピン留め

・デスクトップのショートカットを右クリック



タスクバーにピン留めすると、アイコンを1回クリックすると起動でき操作が楽になります

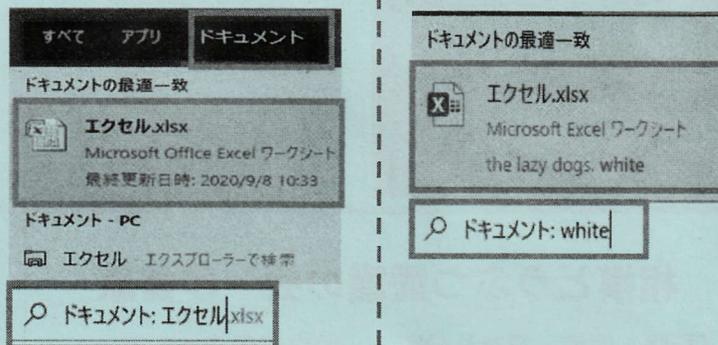
・スタートボタンのアプリ一覧から右クリック



◆虫メガネを利用したファイル名、内容検索

説明用 エクセル.xlsx のファイルを作成して検索します。

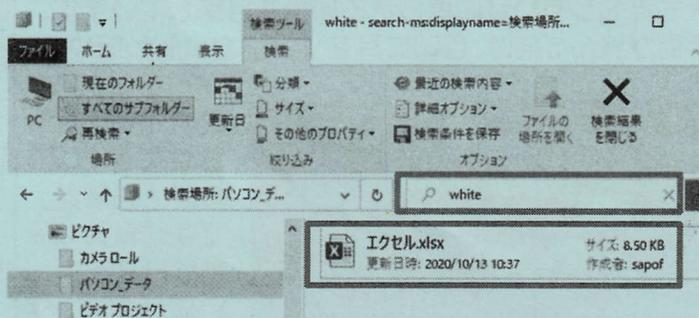
・ファイル名 (エクセル.xlsx) ・内容 (文字列:white)



検索した結果

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	A	quick	brown	fox	jumped	over	the	lazy	dogs.
2	A	quick	white	fox	jumped	over	the	lazy	dogs.
3	A	quick	brown	fox	jumped	over	the	lazy	dogs.
4									

・エクスプローラーの虫メガネでも(white を)検索できる



利用登録団体のご紹介 ③

ばたふらい (butterfly)

【保険・医療・福祉】分野 設立：平成25年
◆代表者：長塚 絢子 ◆TEL070-6669-7712

「ばたふらい (Butterfly)」は、主に、こころの病(精神疾患)をもつ方が、地域によりよく参加・交流・就労できるよう活動しているグループです。おもな活動内容は、①定例会(毎月第4金曜日・午後6時～)、②フリースペース“てふてふ”(毎月第1日曜日・午後1時30分～4時30分)、③生きづらさを抱えながら働くことについての講演会(毎年7月)、④おでかけ企画、⑤S・K・I(第3土曜日)などです。詳細は、サポセンにあるチラシをご覧ください(会場・オンライン、どちらでも参加可能)。障がい・病気な

どで、マイノリティー(少数派)だと思う方、生きづらさを感じる方、その関係者の方や、興味・関心をお持ちの方、もしよかったら、直接お越し頂くか、ご連絡ください。お待ちしております。



伊勢原市文化財協会

【社会教育】分野 設立：昭和41年
◆代表者：櫻井 勇 ◆TEL：0463-94-0943

伊勢原市文化財協会は、1966(昭和41)年2月、前身である「史話会」として発足し、その2ヶ月後「伊勢原市文化財協会」と改称してスタートしました。その後、組織や事業内容に変更や追加も見られますが、54年間の実績は揺るぎないものとなっています。現在の活動の主なものは、史跡巡り(史跡散策)、歴史講演会の開催、「伊勢原市石造物調査報告書」の編集作業、史の香(機関誌)の発行となっています。史跡めぐりと歴史講演会は、会員以外の方も参加出来ますので、その都度、いせはら広報等でお知らせしています。ご参加お待ちしております。



令和元年6月29日 ヴェルニー公園 伊勢原市文化財協会

相模どうぶつ愛護の会・伊勢原

【保険・医療・福祉】分野 設立：平成16年
◆代表者：石井 洋子

本会は、動物愛護精神を基に、餌付けされていない野良猫や“餌だけを与えられている飼い主のいない猫”を地域住民や行政と協働しながら「地域猫」としていくための活動をしています。野良猫にエサを与えている人がいますが、「猫嫌い」の方たちのことも理解し、「野良猫」を捕獲し不妊又は去勢手術を施し、元に戻します。不幸な猫を増やさず地域環境の悪化を防ぎ、人も猫もしあわせに暮らせる環境を目指しています。手術が済んだ猫は、目印に耳をV字にカットし餌やり

さんの下で一代の命を全うさせてあげるのが「地域猫」です。詳しい活動はHPを。一緒に活動するメンバーも募集しています。



公益社団法人

伊勢原市シルバー人材センター

【職業能力・雇用機会】分野 設立：平成9年
◆代表者：宮川 進 ◆TEL：0463-92-8801

シルバー人材センターには、市内にお住いの60歳以上の方々約800名が登録され、仕事を通じた生きがいづくりを進めています。

平均年齢は75歳。仕事の完了報告で事務局を訪れる会員を見るとビックリ！誰もがハツラツとして顔はツヤツヤして年齢を感じさせません。最高齢は97歳の男性。同好会に参加することを楽しみに、会員を続けていられます。当センターでは、仕事の紹介だけでなく、同好会や親睦活動が行われ、人々とのつながりの場ともなっています。あなたも、シルバー人材センターでの新たな生活スタイルへ踏み出してみたいはいかがですか。みなさんの入会をお待ちしています。

◆編集後記◆ 先週、サポセンの垣根から金木犀の甘く芳しい香りが漂っていました。収穫の秋です。よく食べ、よく運動し、そしてよく寝て、自分でできることはしっかりやって、コロナに負けない体を保ちましょう。